



どぼくこうじ
土木工事

地面や川を整えて、 みんなの毎日を支える会社です

さくら開発株式会社

所在地／安城市和泉町神明18-1 TEL.0566-91-7777 <https://sakura-dev.jp>

設立／1993(平成5)年9月2日 従業員数／61名(2025年8月現在)



もっと、くわしく
みてみよう!

私たちの仕事

私たちは、まちの中で工事をして、みなさんが安全にすごせるようにしています。たとえば、雨がたくさん降っても水があふれないように川の周りを直したり、土がくずれないように固めたりするなど、自然と関わる仕事が多くあります。これらの仕事は「社会基盤整備」と呼ばれ、まちの仕組みをしっかりとつくる大切なものです。工事をした後も維持管理を行い、つくったものが安全に使いつづけられるように見守っています。



▲本社

? 土木工事の仕事とは?

暮らしを支える工事の力

私たちは、道路を広げたり、川の土手をつくったり、公園に草や木を植えたりしています。地面の下にあるパイプを直すこともあります。まちが安全で、使いやすくなるように工事を行っています。



道路工事



車や人が通りやすいように、道路をつくったり直したりします。雨水を流す仕組みもつくり、安全に通れるようにします。

公園緑化



公園に木や花を植えて、気持ちよく過ごせる場所にします。地面の形を整えて、歩きやすくすることも大切にしています。

河川工事



大雨で川があふれないように、土手やかべをつくります。川の流れを整えて、水の事故をふせぐようにしています。



? どんな人が働いているの?

自然と向きあうプロの集まり

私たちは、工事の計画を立てる人、機械を動かす人、現場を見守る人など、さまざまな仕事をする人たちと力を合わせています。まちの安全を考えて行動することを大切にしています。

安全と進み具合を見守る 現場監督



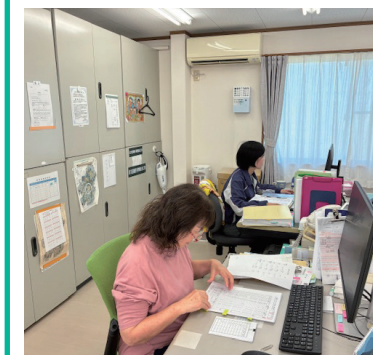
工事が予定通りに安全に進むように、全体の流れを見ながら、作業の内容や人の動きを管理します。天気やまわりの様子にも気を配りながら、工事がスムーズに進むように指示を出す大切な役割です。

工事を工夫しながら進める 施工部門



ショベルカーなどの機械を使って土をほったり、材料を並べたりして、実際に工事を進める仕事です。安全に気をつけながら、いろいろな道具や機械を上手に使って、まちに必要な場所をつくっていきます。

みんなを支える大切な 事務部門



現場で工事がスムーズに進むように、影から支える仕事です。書類をつくったり、工事に必要な物を手配したり、電話や受付などを行います。社内の人とたくさんやりとりをして、毎日の仕事を助けています。

働く人の声

仕事のやりがいを聞いてみました。



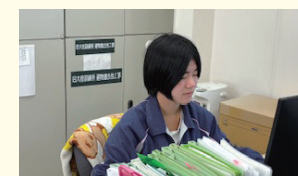
施工部門
みやくに まさき
宮国 正輝さん

ショベルカーなどで工事をします。自分の仕事でまちが変わっていくのを見られることが楽しく、力になります。



現場監督
ひろはま たかひろ
廣濱 敬大さん

工事が安全に進むように計画を立て、現場をまとめています。工事が終わったときの達成感が、一番のやりがいです。



事務部門
おおやま ももか
大山 百香さん

書類をつくったり電話を受けたりして、現場を支えています。仕事がスムーズに進んだときにやりがいを感じます。